



京放技ニュース

8 / 2020
(通算723号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

公益社団法人 京都府放射線技師会

新しい理事会活動の模索

(公社)京都府放射線技師会副会長 久保田 裕一

令和2年6月28日。新型コロナウイルス感染症の影響により、延期しておりました第73回公益社団法人京都府放射線技師会の通常総会がホテルセントノーム京都で執り行われました。従来の総会と違った形式での開催となり、会員の皆様には色々とお迷惑をおかけいたしました。総会では執行部より提案しました議案の全てに承認を頂くことが出来ました事をご報告いたします。これでようやく、令和2年度の事業を始める事ができます。

ここ数カ月、京放技ニュースの巻頭言でも新型コロナウイルス感染症に関して触れてきました。5月25日に全国で緊急事態宣言の解除となつて1ヵ月以上が経ち、数日前より東京での感染者数は再び100人を超えています。やはり人々の活動が増すとともに第2波が起こるのだと感じました。しかしながら世界保健機関(WHO)は新型コロナウイルスがいったん落ち着いた国で感染が再び拡大していることについて、まだ流行の第1波の中にいるとの見解を示しています。緊急事態対応の責任者マイク・ライアン氏は多くの国が経験しているのは第2波ではなく、「第1波の中の2番目のピークだ」と述べ、飛沫感染や接触感染でうつる呼吸器系のウイルスのため、人が多い場所などで「効率的に感染していく」と警告しています。まだまだ新型コロナウイルス感染症は拡大を続ける恐れがあることを再認識させられます。

今までにない環境によるストレスを数カ月にわたり抱えた結果、私たちの新型コロナウイルス感染症への気持ちが少し緩んでいたのは確かだと思います。改めてワクチンの無い現状では、個々が引き続き感染防止に努めるしかないのだと実感しました。

一連のコロナ禍の影響により、仕事や家庭での生活は大きく様変わりました。新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言「新しい生活様式」を取入れながら感染拡大を予防しなければなりません。また医療の現場で働く我々にとっては、引き続き新型コロナウイルス感染症を予防しながら、リスクの高い医療の現場で業務を続けなければなりません。

京都府放射線技師会でも今後は、活動の取り組み方を検討する必要があります。各種研修会や「全地区委員会」、「フレッシュ診療放射線技師の集い」「府民公開講座」等は多くの参加を呼び掛けして、活動してきました。また毎月行っています会議室の理事会も三密を避けた開催が求められています。このように、多くの事業に対し今後の在り方について見直す必要があります。今年度は改選の年であり、当会の理事構成も新しくなりました。その中で既にインターネット環境を用いた会議での運用についての検討を始めています。変革が必要な今、理事一丸となって事業の見直しを含めた新たな活動に取り組みます。会員の皆様方には引き続きお力添えを賜りますようお願いいたします。新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、京都府放射線技師会の新しい生活様式である「新しい理事会活動」を模索しながら、会員の皆様と歩みを進めたいと思っています。

第73回通常総会報告

庶務理事 後藤 正

令和2年6月28日（日）午後2時よりホテルセントノーム京都において第73回公益社団法人京都府放射線技師会 通常総会が行われました。

原口隆志副会長の開会の辞により開会し、次に河本会長から挨拶がありました。

議事

司会者皿谷理事が議長の選任方法について議長立候補を求めると、会場より京都医療科学大学の水田正芳会員が立候補し、全員の挙手にて水田会員が議長に承認された。水田議長が成立状況の確認をしたところ、正会員出席者24名、委任状328名、合計352名の報告であり、総正会員数610名の過半数を超えているため、公益社団法人京都府放射線技師会定款第28条及び第29条に基づきこの総会が成立していることを報告し、全員異議なく承認された。

第1号議案 令和元年度事業報告及び決算書に関する件

河本会長より、総会資料の令和元年度事業の総括が資料に基づき報告され、各委員会の詳細な活動内容については、総会別紙資料にて確認を求め、省略されることになった。渡里財務理事より、総会資料に基づき収支決算書と財産目録等についての報告、近畿地域学術大会費の大幅な赤字についての説明が行われた。次に轟監事及び武部監事より期末監査報告がなされた。

その後、水田議長は令和元年度事業報告、令和元年度決算書報告について一括質疑を伺ったところ、会場からの質疑はなく、第1号議案 令和元年度事業報告は、反対0票、保留0票、賛成が会場23票、書面議決書326票で合計349票（正会員総数610名）、令和元年度決算書は、反対0票、保留0票、賛成が会場23票、書面議決書326票で合計349票（正会員総数610名）、でありいずれも賛成が過半数を超えているので令和元年度事業報告、決算書は承認された。

第2号議案

①令和2・3年度役員選任に関する件

水田議長の求めにより中村泰典選挙管理委員長が令和2・3年度会長及び副会長候補者選挙の結果、会長に河本 勲則氏（京都第二赤十字病院）、副会長に久保田裕一氏（関西医科大学附属病院）が当選したことを報告された。

次に中村選挙管理委員長より、役員選任規程第3章第13条に基づいて選出された地区理事について、北地区・安藤公人氏（京都第二赤十字病院）、中地区・尾関裕彦氏（京都市立病院）、東地区・加藤良美氏（京都第一赤十字病院）、西地区・森吉修氏（京

都桂病院)、南地区・杉原哲雄氏(京都きづ川病院)、両丹地区・村上昭彦氏(綾部市立病院)、西南地区・松本洋一氏(大阪医科大学附属病院)と報告された。

次に中村選挙管理委員長より、会長指名において選出された理事について、副会長・原口隆志氏(関西医科大学附属香里病院)、理事・後藤正氏(済生会京都府病院)、渡里弘氏(京都九条病院)、中川政幸氏(京都大学医学部附属病院)、平井靖氏(三菱京都病院)、三浦健一氏(京都岡本記念病院)、蒲順之氏(大島病院)、中川稔章氏(京都府立医科大学附属病院)、山根稔教氏(京都中部総合医療センター)、大西孝志氏(姫路医療センター)、橋岡康志氏(市立福知山市民病院)と報告された。

水田議長が第2号議案役員の選任について会場全員に諮ったところ、会場(出席会員)では、反対0票、保留0票、賛成23票であった。書面議決書票を含めた集計結果、全員の投票数が正会員の過半数を超えていることから、令和2、3年度の会長、副会長、常務理事、地区理事20名が承認された。

役員選任結果(会場、議決書の合計)は以下の通りである。

会長	河本 勲則(反対0票、賛成347票)
副会長	久保田裕一(反対0票、賛成347票) 原口 隆志(反対0票、賛成347票)
常務理事	後藤 正(反対0票、賛成347票) 渡里 弘(反対0票、賛成347票) 中川 政幸(反対0票、賛成347票) 平井 靖(反対0票、賛成347票) 三浦 健一(反対0票、賛成347票) 蒲 順之(反対0票、賛成347票) 中川 稔章(反対0票、賛成347票) 山根 稔教(反対0票、賛成347票) 大西 孝志(反対0票、賛成347票) 橋岡 康志(反対0票、賛成347票)
地区理事	安藤 公人(反対0票、賛成347票) 尾関 裕彦(反対0票、賛成347票) 加藤 良美(反対0票、賛成347票) 森 吉修(反対0票、賛成347票) 杉原 哲雄(反対0票、賛成347票) 村上 昭彦(反対0票、賛成347票) 松本 洋一(反対0票、賛成347票)

②令和2・3年度監事選任の件

水田議長の求めにより中村選挙管理委員長が役員選任規程に基づき令和2・3年度監事の選挙について説明がされ、選挙が行われた。その結果、令和2・3年度の監事として轟英彦氏と武部義行氏の当選が発表された。

監事選挙結果

轟 英彦(京都府立医科大学附属病院)	21票
武部義行(京都府立医科大学附属病院)	22票

第3号議案

①令和2年度事業計画と予算について

河本会長が令和2年度事業計画と予算内容について説明された。

②総会資料で会員に配布された諸規程集の会費等納入について

河本会長から、会費等納入規程(4)の追加で正会員のうち65才に達する者は、会費額を当該年度から年間5,000円とすることの説明が行われ、施行についての総会審議が提案された。

審議事項について出席者全員に伺ったところ、反対0票、保留0票、賛成が会場23票、委任状328票で合計351票となり承認された。

さらに河本会長から事務職員就業規程が令和元年度第11回理事会で承認され、諸規程集にも掲載されている旨が報告された。

第4号議案 議事録署名人に関する件

議事録署名人選任に関して会場より議長に一任する旨発言があり、水田議長が議事録署名人として、尾関裕彦氏(京都市立病院)と森吉修氏(京都桂病院)の両名を指名し、全員の挙手にて承認された。

その後、水田議長の解任がなされた。

最後に久保田副会長が閉会の辞を述べて、第73回通常総会は終了しました。

*総会に際して

会員より、事前に頂いた質問とその回答を記します。

- ・今年度も事業・管理の大科目が赤字である。
→近畿学術大会費で会場費や講師費の増額が必要になった。
- ・収支決算書に近畿地域診療放射線技師会学術大会準備金で予算書には近畿学術大会費と記載されている。
→記載ミスです。決算書を近畿学術大会費に修正お願いします。ご迷惑をお掛けしました。定款では、貸借対照表、損益計算書、貸借対照表と損益計算書の附属明細書、財産目録の承認が必要なので、問題ありません。
- ・前回発行の定款・規程・内規の内容と違っている。
→定款は何も修正していません。諸規程は、句点、ひらがなを漢字に修正し、府庁からの指導の範囲で修正しました。
- ・新規規程は、総会の承認が必要ではないか。
→理事会承認をいただき、内容も府庁に確認済です。



令和2・3年度 公益社団法人京都府放射線技師会役員体制

役員体制が決定いたしましたので下記の通りご報告いたします。

会 長	河本 勲則 (京都第二赤十字病院)
副会長	久保田裕一 (関西医科大学附属病院)
	原口 隆志 (関西医科大学香里病院)
常務理事	【庶務】 後藤 正 (済生会京都府病院)
	【財務】 渡里 弘 (京都九条病院)
	【学術】 中川 政幸 (京都大学医学部附属病院)
	【編集】 平井 靖 (三菱京都病院)
	【広報渉外】 三浦 健一 (京都岡本記念病院)
	【組織調査】 蒲 順之 (大島病院)
	【厚生】 中川 稔章 (京都府立医科大学附属病院)
	【情報】 大西 孝志 (姫路医療センター)
	【管理士】 山根 稔教 (京都中部総合医療センター)
	【両丹 広報、学術】 橋岡 康志 (市立福知山市民病院)
地区理事	【北地区理事】 安藤 公人 (京都第二赤十字病院)
	【中地区理事】 尾関 裕彦 (京都市立病院)
	【東地区理事】 加藤 良美 (京都第一赤十字病院)
	【西地区理事】 森 吉修 (京都桂病院)
	【南地区理事】 杉原 哲雄 (京都きづ川病院)
	【両丹地区理事】 村上 昭彦 (綾部市立病院)
	【西南地区理事】 松本 洋一 (大阪医科大学附属病院)
監 事	轟 英彦 (京都府立医科大学附属病院)
	武部 義行 (京都府立医科大学附属病院)

3期目の会長に就任して

(公社) 京都府放射線技師会会長 河本 勲則

この度、第73回通常総会において3期目の会長（代表理事）に選任されました河本勲則（京都第二赤十字病院）でございます。

4年間、会長を務めさせていただきました。この2年間は、当会創立70周年記念式典（平成30年）や令和元年度近畿地域診療放射線技師会学術大会の開催があり準備や開催後の後処理から、気が抜けない緊張した時間を経験させていただきました。2大イベントは実行委員長のリダーシップと実行委員とのチームワークさらには会員の協力なしには成功裏に終えられなかったと思っています。心より感謝申し上げます。そのほか、業務拡大に伴う統一講習会や新卒技師向けの臨床講習会や定例研修会に府民公開講座も開催いたしました。他団体との交流も積極的に行い、研修会や講習会に講師も派遣しています。さらに、監督官庁への業務拡大に伴う統一講習会の参加状況、放射線管理責任者に関する要望、無資格者の放射線業務防止に関する要望等の説明や報告を通して、関係も強化できたものと考えています。

今年2月からの新型コロナウイルス感染防止対策により令和元年年末の事業や4月からも会議や総会が予定どおり開催できない状況ではございますが、今後は何とかできることから事業の展開をしていきたいと考えています。また、新型コロナウイルス感染防止対策を考慮した上での研修会開催にも取り組んで参ります。

診療放射線技師が府民の皆様信頼される、必要とされる医療従事者として安全で安心な医療の提供をめざして、会員が習得できる知識や技術を目的とした研修会や講習会の開催を考えています。さらには、近畿地域診療放射線技師会で協力し、日本診療放射線技師会とも積極的に意見交換を行いよい関係性が構築できるよう活動もしていきたいと思えます。会長として4年間の経験を活かし、微力な私ではございますが京都府放射線技師会発展のために、診療放射線技師の地位向上に誠心誠意努めて参りますので、ご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

末尾になりますが、新型コロナウイルス感染者数が増加しています。府内各施設で感染患者に対応されている会員におかれましては、十分な感染対策と日常の体調管理に心がけてください。先は見えないですが頑張りましょう。

理事退任の挨拶

【前 庶務理事】 皿谷 弘樹

私こと6月28日任期満了につき京都府放射線技師会の庶務理事を退任することとなりました。庶務5期10年、地区1期2年の永きにわたり無事に担務をさせていただいて、こうして退任のご挨拶が出来ることに感謝申し上げます。

とは申しましても、12年の間には提出期限が守れない、担当者に連絡ができていない、書類の作成、送付間違いや企画書通りに運営できていないなど何かと至らぬ点多く本当にお迷惑をお掛けしました。会長を始め理事の皆様また会員の皆様の御協力無しにはこの大役をまっとう出来たとは思えません。今、改めて皆様に御礼を申し上げたいと思えます。

後任の後藤正理事には引継ぎに際してご迷惑をおかけすると思えます。諸先輩が築き

上げた伝統を踏襲しつつ、デジタル化を取り入れた次世代の庶務担務運営をどうかよろしくお願い申し上げます。

今後は、一会員として外側から技師会を応援していきたいと思えます。変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後に新年度の皆様のご活躍を祈念しまして退任の挨拶と換えさせていただきます。

【前 編集理事】中島 智也

私が京放技に最初に関わったのは輪番制で地区理事を担当したことでした。地区理事を2期4年担当し、その後、編集理事を5期10年務めさせていただきました。それまでは自分の施設の中で仕事をどうすればいいのか、自分で考えることしかできませんでした。先輩のやっていることが正しいやり方で、それに対して疑問もありませんでした。技師会に関わるとそれまで交流のなかった横のつながりができ、他施設の状況や世の中の動きを知ることができるようになり、世の中の診療放射線技師の行動と私の仕事にギャップがあることに気づくことができました。技師学校の同級生ともつながりのなかった私にとって技師会は唯一の横のつながりとなり、診療放射線技師が世の中にどのように貢献できるか、世の中からどのように要望されているのかを知るツールとなりました。また、技師会活動に携わっていると政治の勉強にもなりました。「政治家と関わる」というと汚職などの悪いイメージしかなかったのですが、診療放射線技師の仕事の価値のあるものにしようと思うなら、医療系の政治家に要望しないといけません。医師や看護師は多数の議員がいますが、コメディカルは少ないです。これでは我々の仕事がよくなるはずがないことを知りました。そうした学校では教えてもらえない、いろいろな勉強をできたことに感謝しています。

【前 広報渉外理事】新井 喬

このたび広報・渉外理事を退任することになりました。

私は、理事会の業務は技師会に入会してから委員、地区理事、常務理事と途切れることなく30年以上にわたり携わり、任期中は関係者の皆様にはお世話になり御礼申し上げます。

長い理事会活動において、すべての技師の社会的な意識の向上や医療の素養を促すことは難しいと痛感しました。そして、何かまだやり方があったのかもしれないとも思います。

広報・渉外の活動では、いかに社会的認知度を広めるかを考え、いろいろと規制のある中で宣伝、広報の行動をしましたが、現状はやはり世間という壁は高く認知度はなかなか上がらないというのを思いました。

組織が発展、継続するためには、組織は変化し世代交代はしなければならないことであり、次世代に新しい考えや多様な思いに活動を託したいと思えます。

【前 北地区理事】河野 友宏

私自身、様々なご縁により北地区理事に就いて活動する運びとなりました。診療放射線技師になって以降、診療放射線技師会の活動には今まであまり関わりがなかったのですが、初めに業務拡大に伴う統一講習会に参加し技師会活動に参加させていただきました。

た。任期の2年間で様々な技師会活動が行われました。常務理事会、全地区委員会、日放技フレッシューズセミナー、京都府放射線技師会総会、京都府放射線技師会創立70周年記念式典、近畿地域診療放射線技師会学術大会など数々のイベントに参加し、スタッフとして関わらせていただきました。前任の地区理事や地区委員の方に支えられ北地区理事としての任期を終了できることを非常に感謝しております。財務委員会では、月ごとの財務処理、公益社団法人としての財務運用、時期ごとの監査も参加させていただき、多くのことを勉強させていただきました。

この2年間至らなかつた点が多々ありご迷惑をおかけしましたが、理事として活動させていただき誠にありがとうございました。今後は微力ではありますが、陰ながら京都府放射線技師会の活動を応援させていただけたらと思います。

【前 両丹地区理事】平林 良介

平成30年5月より両丹地区選出の理事として1期2年務めさせていただきました。振り返ってみれば、就任当初直ぐに両丹地区夏季研修会等の準備もあり気の重い時期もありましたが、常任理事の橋岡理事、地区委員の方々に積極的に行動して頂き無事に両丹地区夏季研修会を終えることができたこと、懐かしく思います。また平成30年10月の京都府放射線技師会創立70周年記念式典、令和2年2月の近畿地域診療放射線技師会学術大会等へ役員として参加できたことは私にとっては貴重な経験となり財産となりました。

この2年間で多くの人と出会うことができ、多くの人に協力をしてもらい、そして技師会の良さ、ありがたさを感じることができました。

新型コロナウイルス感染症に関しても同様ですが医療を取り巻く環境は年々変化し複雑になってきています、技師会の役割は今後更に重要になると予想されます。河本会長以下役員の方々におかれましては、健康に留意され会員を導いて頂きますようお願いいたします。

結びにあたり、京都府放射線技師会のますますのご発展をご祈念申し上げるとともに、両丹地区会員の皆様にお礼と感謝申し上げます。2年間ありがとうございました。

【前 中地区理事】楡 隆之

中地区会員のみなさま、今まで5期10年間、中地区理事を務めさせていただきました有難うございました。このように長い間理事を務めあげることが出来たのは会員のみなさまのご協力のおかげだと思っています。また、技師会のいろはも全く知らずに理事になった私のことをご指導していただいた、三役、監事をはじめとした常務理事のみなさま、地区委員のみなさまのご協力のおかげで、何とか役割を果たせたのではないかと考えています。

私の経験したこの10年間は京放技としては全国学術大会の開催や公益法人の取得など、大きな事業を経験し、診療放射線技師としても、抜針講習会を経ての業務拡大に伴う統一講習会の開催など、大きな変動の時期にあたり、このタイミングで技師会の役職について経験できたことは残りの技師生活を送るうえでも大きな宝になったと思います。京都府放射線技師会の今後のさらなる発展を願って、微力ながら協力していきたいと思っています。

線量計校正研修会開催のお知らせ

管理士理事 山根 稔教

管理士会の通年行事として線量計校正研修会を開催します。この研修会は、京都医療科学大学のご協力により施設をお借りし、赤澤博之先生に講師をお願いしての研修会です。線量計は電離箱式のものに限りませんが御施設の線量計を持ち込んでいただき測定精度の維持にお役立てください。なお、校正測定された線量計には証明書の発行があり、トレーサビリティが取れている裏づけになります。

今回は新型コロナウイルス感染防止の対策として、全体講習は無くして線量校正を少人数の時間制で行う予定でいます。施設名、当日の担当者、持ち込まれる線量計の機種や台数、連絡用のメールアドレスを記載して事前申込をお願いします。申し込み多数の場合は参加して頂く事が出来ない場合もありますがご了承ください。参加が確定した方には集合時刻等を開催日の5日前にはメールにてお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。なお今後の状況により中止させて頂く可能性もあります。

開催日：令和2年9月6日(日)

時間：9時50分から受付開始 10時00分開催 16時00分終了予定

場所：京都医療科学大学 1号館 2階 講義室および実験室

(本館は施錠されていますので奥の1号館へお回りください)

参加費：会員の線量計持ち込み施設 無料

非会員の線量計持ち込み(会員が持ち込まない)施設 5,000円

申し込み方法：

線量計校正研修会参加希望と伝えていただき、参加者の氏名、施設名、持ち込まれる全ての線量計の機種と台数をお知らせください。①か②の方法でお願いします。

①京放技事務所宛にメール連絡 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-int.or.jp

②京放技事務に電話連絡 075-802-0082 (平日、午後1時から4時まで)

申し込み締め切り 令和2年8月20日まで

第2回理事会報告

令和2年6月28日
(ホテルセントノーム京都)

議長に後藤正理事、書記に中川政幸理事を選任し午後3時20分より議事開始

1. 理事理事会承認に関する件

- 1) 令和2年度代表理事(会長)選任に関する件 河本勲則会長
 - ・定款第14条2項により令和2・3年度代表理事の理事会決議決定について説明
 - ・審議事項
令和2・3年度代表理事(会長)河本勲則の選任について承認
- 2) 業務執行理事(副会長、常務理事)選任に関する件 河本勲則会長
 - ・定款第14条2項により令和2・3年度業務執行理事(副会長、常務理事)の理事会決議決定について説明
 - ・審議事項
令和2・3年度の業務執行理事(副会長、常務理事)選任について承認

【副会長】 原口 隆志

【常務理事】 後藤 正(庶務)、渡里 弘(財務)、中川 政幸(学術)、平井 靖(編集)、三浦 健一(広報渉外)、蒲 順之(組織調査)、橋岡 康士(両丹学術)、中川 稔章(厚生)、大西 孝志(情報)、山根 稔教(管理士)

II. 各委員会報告及び計画に関する件

- 1) 財務委員会報告 渡里弘財務理事
- 2) 今後の予定 河本勲則会長
京都府放射線技師会の活動計画について
- 3) 会費等納入規定第2条4項の65歳に達する者の会費減額について 河本勲則会長
65歳以上に会費減額により予算が減少する。
その予算修正の取り扱いについて府庁より了承をえています。
- 4) Web会議開催について 大西孝志理事
来月理事会にてWeb会議運用案を提示

第3回理事会報告

令和2年7月11日
(京放技会議室)

議長に三浦健一理事、書記に中川稔章理事を選任し午後4時30分より議事開始

I. 経過報告及び計画に関する件

1) 経過報告および計画 河本会長

- (経過報告)
- ・4月11日 令和2年度第1回理事会 京放技会議室
- ・4月14日 京都府総務部法務法政課に総会の延期について相談 府庁法務課
- ・4月15日 財務委員会(近畿学術大会取支作業) 京放技事務所
- ・4月17日 3役会議 京放技事務所
- ・4月21日 京都府補助金申請書追加提出(京都府福祉部医療課)
- ・4月24日 財務委員会 京放技事務所
- ・4月26日 臨時理事会(メール会議)
総会議決の書面議決書運用の承認
- ・4月28日 書面議決による総会開催について府庁へ相談(府庁法務課)
- ・5月17日 緊急近畿地域診療放射線技師会会長会議(web開催)
- ・5月20日 庶務委員会 京放技事務所
- ・5月25日 日放技総会質問シート送信
府庁に65歳以上会員の会費5,000円の規程改正について相談
- ・6月3日 総会資料、委任状、議決書、第2回理事会開催通知、欠席委任状、議決書発送(京放技事務所)
- ・6月6日 日放技第81回定例総会web視聴(事務所)
- ・6月9日 庶務委員会 京放技事務所
委員会業務引継ぎ、総会準備
- ・6月23日 選挙管理委員会 京放技事務所
総会理事改選運用について
- ・6月24日 近畿地域診療放射線技師会会長会議(web会議)
- ・6月26日 選挙管理委員会 京放技事務所
- ・6月28日 第73回京放技通常総会、令和2年度第2回理事会(ホテルセントノーム京都)

(計画)

- ・7月11日 令和2年度第3回理事会 京放技会議室
- ・8月1・8日 新任常務理事と今年度の事業推進について意見交換(日程調整中) 京放技事務所
- ・9月5日 令和2年度第1回近畿地域診療放射線技師会会長、副会長会議、教育委員会会議(大阪府放射線技師会事務所)

- ・9月12日 令和2年度第4回理事会 京放技会議室
- ・10月10日 令和2年度第5回理事会 京放技会議室
- ・10月下旬 令和2年度中間監査(日程調整中) 京放技事務所

2) 各委員会報告及び計画

- 【庶務】後藤理事
 - ・会員数6月30日現在641名(4月から+5)
 - (内訳)名誉会員4名、正会員616名、賛助会員21社
新入会6名、転入会2名、再入会1名、転出3名、物故者1名
 - ・4月4日 監査 京放技会議室
 - ・4月9日 理事会準備 京放技会議室
 - ・4月16・17・27日、5月21・22・23日、6月4・12日
理事交代資料作成 京放技事務所
 - ・4月20日、5月20日、6月20日 職員給与準備 京放技事務所
 - ・5月11・20日、6月3・10・18・19・20・27日
通常総会準備 京放技事務所
 - ・6月28日 通常総会(ホテルセントノーム京都)
 - ・6月29日 理事会委任状作成
 - ・6月30日 委嘱状郵送、委員会報告書作成 京放技事務所
 - ・対外文書(4月1日~6月30日)273件、発刊文書(4月1日~6月30日)13件

・承認事項:

新卒入会3名、新入会3名、再入会者1名を承認
令和2・3年度委員として 榎 隆之(京都民医連中央病院)、吉田久仁彦(聖ヨゼフ医療福祉センター)、四丸 真俊(宇多野病院)、服部 恵里香(大阪医科大学附属病院)の4名を承認

【財務】渡里理事

- ・会費納入状況(令和2年5月末日現在)
令和2年度会費納入者250名、令和元年度会費未納者18名
- ・4月1日・2日・5日・8日 京都府提出用収支作成 京放技事務所
- ・4月9日・15日・24日、5月1日・15日・24日・28日、6月25日
歳入、歳出 財務処理 京放技事務所
- ・6月3日 総会資料作成 京放技事務所

・承認事項:

令和2・3年度委員として 河野 友宏(大阪プレストクリニック)を承認

【学術】中川理事

- ・報告事項なし
- ・承認事項:
令和2・3年度委員として
片山 雅人(洛和会音羽病院)、前田 富美恵(京都市立病院)、四丸 真俊(宇多野病院)、丸山 久喜(向日回生病院)、林 浩二(洛和会京都健診センター)の5名を承認

【編集】平井理事

- ・4月20日 5月号ニュース編集作業(田辺中央病院)
- ・4月23日 5月号ニュース校了(田辺中央病院)
- ・5月18日 6月号ニュース編集作業(田辺中央病院)
- ・5月20日 6月号ニュース校了(田辺中央病院)
- ・6月11日 令和元年度京都府放射線技師会雑誌(年報)校了(田辺中央病院)
- ・6月22日 7月号ニュース編集作業(田辺中央病院)
- ・6月25日 7月号ニュース校了(田辺中央病院)
- ・6月28日 第73回通常総会参加(ホテルセントノーム京都)

・承認事項:

令和2・3年度委員として 村上 雅之(京都大学医学部附属病院)、中島 智也(田辺中央病院)の2名を承認

【広報・渉外】三浦理事

- ・4月20日 京都府より補助金額の確定についての通知
- ・5月12日 「第55回京都病院学会第4回実行委員会」文書審議
- ・6月2日 「第55回京都病院学会第5回実行委員会」文書審議
- ・承認事項:
令和2・3年度委員として 若畑 旬弥(京都医療センター)を承認

【組織調査】蒲理事

- ・5月25日 入会案内の発送作業
- ・承認事項:
令和2・3年度委員として
松元 誠(松下記念病院)、山本 祐造(京都第二赤十字病院)、丸山 久喜(向日回生病院)、鷹野 潤寛(京都第二赤十字病院)、高田 春彦(松下記念病院)の5名を承認

【厚生】中川稔章理事

- ・6月10日 通常総会会場打ち合わせ(ホテルセントノーム京都)
- ・承認事項:

令和2・3年度委員として上原 秀夫（京都大学医学部附属病院）、山添 元士（京都第二赤十字病院）、塩貝 光司（京都中部総合医療センター）、小笠原 陵（関西医科大学附属病院）の4名を承認

【情報】大西理事

- ・4月10日 ホームページのトップページを更新
- ・4月20日 ホームページのトップページを更新
- ・4月22日 ホームページのトップページを更新
- ・5月11日 ホームページ提供資料のパスワード発行依頼を確認(0件)
- ・5月18日 ホームページのトップページを更新
- ・5月18日 新ホームページの検討
- ・5月18日 会員用提供資料のパスワード発行依頼を確認(0件)
- ・6月12日 ホームページのトップページ更新
- ・6月28日 第73回通常総会及び第2回理事会に出席
(ホテルセントノーム京都)
- ・6月30日 理事メーリングリストの更新作業

・承認事項：

令和2・3年度委員として中田 博之（三菱京都病院）、若畑 旬弥（京都医療センター）、長野 祐馬（関西医科大学附属病院）の3名を承認

【管理士】山根理事

- ・6月 線量計校正研修会について打ち合わせ

・承認事項：

令和2・3年度委員として

安藤 博敏（衿正会生駒病院）、大澤 啓次（済生会京都府病院）、田中 亮（清仁会亀岡シミズ病院）、三森 隼人（京都中部総合医療センター）の4名を承認

【両丹学術】橋岡理事

- ・3月13日 メールにてCOVID-19に係る診療放射線技師の防護衣について両丹委員に配信
- ・3月25日 メールにて令和2年度地区理事と夏季研修について相談
- ・4月1日 メールにて診療報酬改定速報を配信
- ・6月26日 両丹地区第1回地区委員会（綾部市立病院）令和2年度各研修会 中止
- ・6月28日 第73回通常総会参加（ホテルセントノーム京都）
- ・6月28日 令和2年度第2回理事会参加（ホテルセントノーム京都）

【受賞者選考委員会】河本会長

- ・報告事項なし

II. 地区経過報告及び計画に関する件

【北地区】安藤理事

- ・4月8日 地区委員依頼 メール配信
- ・6月4日 情報提供 メール配信

【中地区】尾関理事

- ・4月10日 第578回研修会の中止のお知らせ、総会出欠(委任状)ハガキ投函のお願い
新卒入職者紹介のお願いを配信
- ・4月13日 前年度医師会費滞納者への納入のお願いを地区委員に依頼
- ・4月21日 第73回通常総会延期のお知らせを配信
- ・4月22日 第55回京都病院学会のWEB開催のお知らせを配信
- ・4月28日 臨時理事会(メール会議)の審議事項(総会の書面表決による決議)の承認メール送信
訃報配信
新型コロナウイルスに関する状況調査の実地について協力依頼を配信
- ・4月30日 JIRAの鍵谷様からの情報提供&資料送付を配信
- ・5月10日 医療機器等における医療用物資の緊急時対応について配信
新卒者紹介のお願い(再)を配信
- ・5月13日 新型コロナウイルスに関する状況調査の調査結果を配信
日放技・オンラインセミナーのお知らせを配信
- ・5月21日 睦元衆議院議員からの新型コロナウイルス関連のメールを配信
日放技からの医療法第25条第1項に基づく立入検査について配信
- ・6月8日 総会資料に添付されている委任状と議決書の返送のお願いを配信
令和2年度診療報酬改定に対する影響調査のお願いを中地区の中規模以上の施設会員に配信

令和2年度中地区委員の選出(継続か新規)を現委員に依頼

学術大会延期のお知らせを配信

近畿学術大会時の未支給行動費についての関係者に連絡

- ・6月10日 日放技に令和2年度診療報酬改定に対する影響調査ファイルを送信

- ・6月21日 第73回通常総会返信送付書類投函のお願いを配信

【東地区】加藤理事

- ・4月8日 第73回通常総会出欠届についてメール配信
- ・4月20日 総会、研修会の延期にてメール配信
- ・4月22日 第55回京都病院学会についてメール配信
- ・4月28日 訃報連絡メール配信
- ・6月9日 送付物の委任状、書面議決書、役員選任についてメール配信
- ・6月19日 再送、送付物の委任状、書面議決書、役員選任についてメール配信

【西地区】森理事(編集理事代読)

- ・4月10日 西地区連絡網にて「新入職者紹介のお願い」
- ・4月14日 西地区連絡網にて「第73回通常総会開催変更のお知らせ」
- ・4月20日 西地区連絡網にて「第73回通常総会開催延期のお知らせ」
- ・4月22日 西地区連絡網にて「第55回京都病院学会開催のお知らせ」
- ・4月29日 西地区連絡網にて「訃報ご連絡」
- ・5月11日 西地区連絡網にて「新入職者紹介再度お願い」
- ・6月19日 西地区連絡網にて「第73回通常総会返信送付書類投函のお願い」
- ・6月24日 次期地区理事への引継ぎ書類の作成
- ・6月28日 第73回通常総会出席（ホテルセントノーム京都）
- ・6月28日 令和2年度第2回理事会参加（ホテルセントノーム京都）

【南地区】杉原理事(広報渉外理事代読)

- ・4月10日 新卒者紹介案内を連絡網で配信
- ・6月19日 総会委任状・書面議決書の提出願いを連絡網で配信

【両丹地区】村上理事(両丹学術・広報理事代読)

- ・4月・5月 京放技よりの情報提供を各施設へメール送信
- ・6月26日 地区年間活動について協議（綾部市立病院）

【西南部地区】松本理事(原口副会長代読)

- ・4月20日 新卒者紹介のメールを地区委員に送信

III. その他

1) 賛助会員規定の件(河本会長)

会長作成の内容を各理事が確認し、次回理事会で検討する。

2) 講習会に対するガイドライン(日放技)(河本会長)

各理事は内容を確認し、今後の京放技での研修等の対応に役立てる。

3) 「機密および個人情報に関する誓約書」について(河本会長)

コンプライアンスを考慮し、各理事への提出をお願いする。

4) 被ばく相談員について(河本会長)

各都道府県に担当者を設置し質問を受けていたが、全国的に件数が少ないため今年度をもって担当者設置は廃止となる。来年度より、質問は一括して日放技が受ける。

5) 地区理事の業務分担としての委員会所属配置(河本会長)

【北地区】安藤 理事(組織委員会)

【中地区】尾関 理事(庶務委員会)

【東地区】加藤 理事(学術委員会)

【西地区】森 理事(財務委員会)

【南地区】杉原 理事(広報・渉外委員会)

【両丹地区】村上 理事(編集委員会)

【西南部地区】松本 理事(情報委員会)

6) 京放技ニュースについて(平井理事)

今年度のように理事会や研修会等の開催運営が滞り、報告事項や決定事項がなく、ニュースの発行が困難となった場合は、理事会へ提案し、発行の是非を検討して頂き、承認を得た上で休刊も視野に入れ検討。

以上、各議案について採択し承認された。(文責：平井)

編集後記

今回より担当させていただきます平井です。想像以上に時間に押され編集という仕事を引き受けてしまった事を後悔しつつ、プレッシャーに押し潰されないようこの責務を精一杯果たしていく所存でございますので宜しくお願いします。

ようやく通常総会も開催する事ができ、理事も選任され、スタートラインに立つ事はできたものの、新型コロナウイルス感染症は収束していくどころか、ここ数日は感染者数が増えていく傾向で第2波とも言われ今後活動の不安は山積みではありますが、会員の皆様と一丸となりこの苦境を乗り越えてゴールを目指し理事一丸となり走り出しますので、ご協力をお願いします。

編集委員会 平井 靖

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- 令和2・3年度、各委員会委員が承認された。

▶ 7月以降の京放技活動

11月1日(日) フレッシュアップセミナー、全地区委員会、
フレッシュ診療放射線技師の集い

会場は審議中

会 員 異 動

【新卒入会】 3名

吉岡 啓司(ヨシオカ ケイジ) 市立福知山市民病院(両丹1)
松井 一步(マツイ カズホ) 関西医科大学附属病院(西南3)

【新入会】 3名

平岩 源司(ヒライワ ゲンジ) 洛和会丸太町病院(中1)

【再入会】 1名

訂正とお詫び

編集委員会 理事 平井 靖

7月にお届けしました「令和元年度京都府放射線技師会雑誌」におきまして、会員様の所属施設名に対し誤記をご指導いただきました。

今後は、チェック体制をより強化し会務に努めて参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(訂正)

P40	藤原 康志	誤) 鳥井病院	正) 鳥井医院
P48、49	平林 良介	誤) 京丹後市弥栄病院	正) 京丹後市立弥栄病院
P50	守口 聖人	誤) 枚方共済病院	正) 枚方公済病院